



観光ガイドブック「ABI ROAD」

AR機能付き日本語・外国語(英語・中国・韓国語)版を発行!

～ICT(情報通信技術)を観光客誘致の活性化に積極活用へ～

市では、市外からの観光客誘致に向けてICT技術を取り入れたAR(拡張現実)機能付、観光ガイドブック「ABI ROAD」(平成26年発行)を3年振りに改訂し発行します。2020東京オリンピックパラリンピックを見据え、従来の英語と中国語の2カ国語に加え、訪日外国人客数2位の韓国語版を新たに制作しました。

東葛6市で初のAR機能付き観光ガイドブック「ABI ROAD」では、写真(▶マーク付)にスマホをかざすと動画で詳しく市内のスポットを紹介します。改訂版には、6月にリニューアルオープンした水の館・農産物直売所「あびこん」、農家レストラン「旬菜厨房 米舞亭」など新たな魅力を加えました。

動画は、15秒～6分30秒の14本で、市民参加で手賀沼のヨットやカヌーが登場するCMや市制45周年記念映像、チバテレビの朝の情報番組シャキット!で毎月放送している市の広報コーナー「あびこナビ」、J:COMで生中継した手賀沼花火大会の映像など、2社の映像協力を頂き新たな動画を制作経費を掛けずに実現しています。P10手賀沼の夕景では、最新の映像技術「タイムラプス」で夕陽が沼に沈む様子を紹介。P11の動画「水の館」では、星野市長が都心から近い水辺スポットに誕生した新たな施設をトップセールスしています。

外国語版では、訪日外国人客数で、1位の中国に次いで多く来日している韓国語版を追加で制作しました。訪日外国人観光客の誘致に向けては、平成27年9月英中国語版発行、今年1月多言語(英・中・韓)観光案内看板設置、6月市ホームページ多言語(英・中・韓国語)対応を完了済みです。訪日外国人客数は、今年9月中旬に2千万人を突破するなど順調に増え続けていて3か国版が揃ったことで、10月のダイヤ改正で上野東京ラインの東京・品川方面の電車が増発され都心からのアクセスが大きく改善した追い風を活かして、手賀沼の畔の水の館や個性的な3博物館施設など本市の魅力外国人観光客にもアピールしていきたいと考えています。

今回制作したAR機能付き観光ガイドブック「ABI ROAD」は、東京駅前の観光情報発信拠点「東京シティアイ」、県内では、木更津市の三井アウトレットパーク木更津内の千葉県観光情報館「チーバくんプラザ」など外国人利用者の多い施設に配置する他、市内では天王台のホテルマークワンあびこの全客室に配置します。また、市ホームページでもご覧頂けます。

【問い合わせ】

我孫子市総務部秘書広報課

あびこの魅力発信室 担当 深田・山田

☎ 04-7185-2493 (内線235)

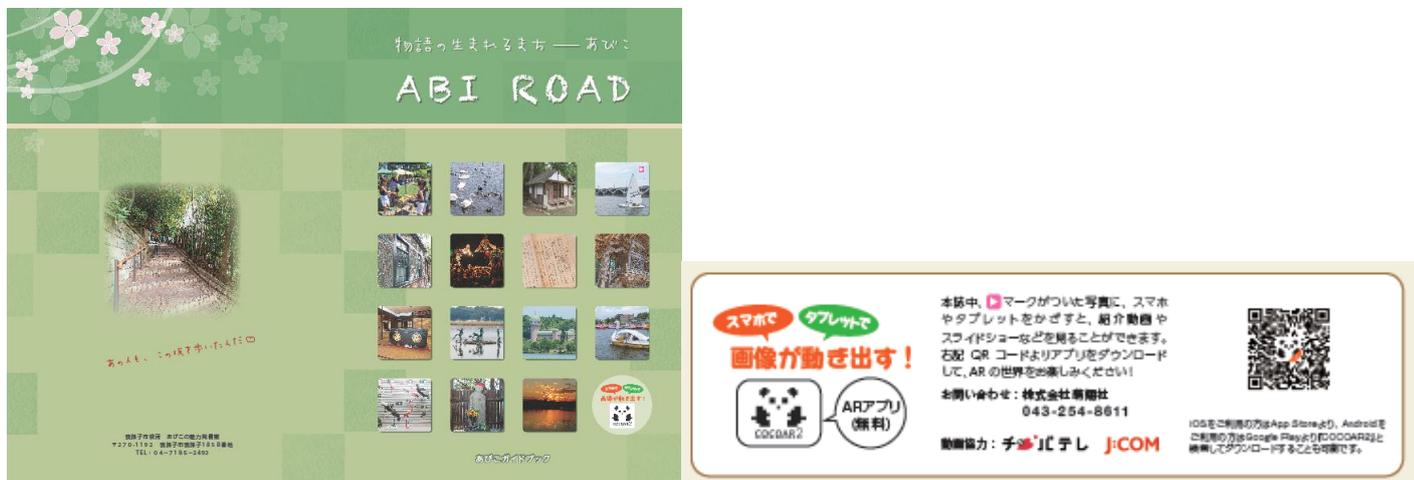
■観光ガイドブック「ABI ROAD」日本語・英語・中国語(簡体)・韓国語版

発行部数：日本語 5,000 部 英・中・韓国語各 2,000 部

配置部署：東京シティアイ、チーバくんプラザ、ホテルマークワンあびこ（全客室）、アビシルベ等

配布開始：12月1日から

■デザイン 日本のお茶文化をイメージした緑の色合い、裏表紙には、手賀沼遊歩道で見られる桜の花びらを配し、文人ゆかりのまち あびこを落ち着いた「和」のテイストで表現しました。



■AR（拡張現実）

・AR機能とは、スマートフォンのアプリ。「ABI ROAD」で紹介している写真にスマホのカメラをかざすと、案内動画が見られるサービス。携帯電話やスマートフォンなどのカメラで映し出す現実のオブジェクトに、オンライン上の多様な情報を重ね合わせることで様々なコンテンツを閲覧できる技術として注目されている。

本市のAR用動画は、チバテレ、J:COMで市をPRする為にこれまでに制作した番組、CMの動画を両社の協力で有効活用しており新たな経費を掛けずに実現しています。

■動画 写真と説明文では、紹介しきれない魅力を動画を通じてアピールします。

【AR動画一覧・時間】15秒～約6分30秒の動画

- ①(表紙)我孫子市 CM (30秒) ②(P1)市制45周年シティプロモーション動画(4分50秒)
- ③(P3)天神坂(15秒) ④(P5)杉村楚人冠記念館(50秒) ⑤(P7)白樺文学館(3分50秒)
- ⑥(P8)旧村川別荘(4分20秒) ⑦(P9)手賀沼(1分15秒)
- ⑧(P10)手賀沼の夕日(タイムラプス)(1分15秒)※話題のタイムラプスで夕日から日没を早回しで紹介
- ⑨(P11)水の館(星野市長トップセールス)(4分)
- ⑩(P13)鳥の博物館(1分) ⑪(P19)旧井上家住宅(3分30秒) ⑫(P23)手賀沼遊歩道の桜 CM(30秒)
- ⑬(P25)竹内神社の祭礼(3分39秒) ⑭(P26)手賀沼花火大会(6分30秒)

(参考)

・県内では、東庄町がAR機能付き観光ガイドブック(平成26年度)。大多喜町AR機能付き英語版観光パンフ(平成27年度)各々発行済み。